

平成21年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,494億円余
2. 前年同月比	-13.4% (店舗数調整後/17か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-12.0%(90.4%) : 非店頭-24.7%(9.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成21年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	947,026㎡ (前年同月比:-4.2%)
6. 総従業員数	18,667人 (前年同月比:-3.1%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 -10.5%、1-3月 -11.4%、2-4月 -12.2%、 3-5月 -12.9%、4-6月 -12.4%、5-7月 -12.9%

[参考] 平成20年7月の売上高増減率は-0.9% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

- (1) 都内各店のサマーセール状況は、6月前倒しスタートの店ではその反動減の影響があり、7月1日スタートの店でも初日が平日という日合わせの関係から初動のインパクトが鈍化したため、全般的に盛り上がり欠けた結果となった。
- (2) 今年の中元商戦は6月・7月通期で前年をやや下回る売上であったが、特徴的な動きとしては、自家需要商材や限定商材、またネット受注の好調さなどが目立った。
- (3) 天候不順の影響でUV対策商材が不調であった反面、雨傘・レインコート・レインブーツ等の雨天対策商材に動きが見られた。
- (4) 株価が回復基調にあることなどを背景に、高額商材に動きが見られた。一部の店舗では輸入時計で前年売上をクリアするケースも報告されている。
- (5) 8月中旬までの売上動向については、都内の多くの店舗で前年比-5%前後を記録している。7月の水準からは回復の兆しが見てとれる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見るとの傾向値/前年同月比)
①増加した: 2店、②変化なし: 3店、③減少した: 15店、④不明: 2店
- (3) 7月歳時記 (夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み) の売上 (同上)
①増加した: 0店、②変化なし: 4店、③減少した: 8店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見るとの傾向値)
①増加する: 0店、②変化なし: 7店、③減少する: 12店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年07月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) *
総 額	149,411,600	100.0	-13.4 (-14.6)
紳士服・洋品	10,864,359	7.3	-18.8 (-19.3)
婦人服・洋品	33,715,844	22.6	-18.2 (-18.9)
子供服・洋品	2,495,935	1.7	-13.7 (-13.8)
その他衣料品	3,683,216	2.5	-17.9 (-18.9)
衣 料 品	50,759,354	34.0	-18.1 (-18.8)
身のまわり品	19,786,365	13.2	-13.0 (-14.9)
化粧品	6,813,021	4.6	-7.3 (-7.8)
美術・宝飾・貴金属	7,038,462	4.7	-16.5 (-17.8)
その他雑貨	7,163,968	4.8	-22.7 (-23.0)
雑 貨	21,015,451	14.1	-16.1 (-16.8)
家 具	2,466,988	1.7	-17.6 (-18.4)
家 電	553,010	0.4	-11.9 (-12.0)
その他家庭用品	4,290,571	2.9	-19.1 (-19.8)
家 庭 用 品	7,310,569	4.9	-18.1 (-18.8)
生 鮮 食 品	6,302,520	4.2	-1.7 (-2.9)
菓 子	10,718,971	7.2	-4.7 (-6.7)
惣 菜	7,805,700	5.2	-8.6 (-10.1)
その他食料品	16,928,018	11.3	-12.9 (-14.6)
食 料 品	41,755,209	27.9	-8.5 (-10.2)
食 堂 喫 茶	3,912,446	2.6	-8.9 (-10.2)
サ ー ビ ス	2,033,306	1.4	12.0 (11.9)
そ の 他	2,838,900	1.9	28.6 (27.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

*

商品券	5,754,998 千円	-14.6 (-17.6)
従業員数	18,667 人	-3.1
店舗面積	947,026 m ²	-4.2

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

ⅡⅡ. 商品別の動き

主要5品目は、10か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、化粧品、美術・宝飾・貴金属は先月より改善の動きとなり、雑貨が0.9ポイント改善した。また、家具、その他家庭用品も同様で、家庭用品も0.8ポイント改善した。食料品は惣菜が改善、生鮮が健闘したが、その他食料品が落とす動きとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-13.4	—	17か月連続マイナス
紳士服・洋品	-18.8	-1.5	16か月連続マイナス
婦人服・洋品	-18.2	-4.3	12か月連続マイナス
子供服・洋品	-13.7	-0.2	11か月連続マイナス
その他衣料品	-17.9	-0.5	15か月連続マイナス
衣料品	-18.1	-6.5	12か月連続マイナス
身のまわり品	-13.0	-1.7	16か月連続マイナス
化粧品	-7.3	-0.3	8か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-16.5	-0.8	11か月連続マイナス*
その他雑貨	-22.7	-1.2	14か月連続マイナス*
雑貨	-16.1	-2.3	15か月連続マイナス
家具	-17.6	-0.3	16か月連続マイナス
家電	-11.9	0.0	19か月連続マイナス
その他家庭用品	-19.1	-0.6	14か月連続マイナス
家庭用品	-18.1	-0.9	14か月連続マイナス
生鮮食品	-1.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
菓子	-4.7	-0.3	6か月連続マイナス*
惣菜	-8.6	-0.4	16か月連続マイナス*
その他食料品	-12.9	-1.5	6か月連続マイナス*
食料品	-8.5	-2.2	10か月連続マイナス
食堂喫茶	-8.9	-0.2	9か月連続マイナス
サービス	12.0	0.1	9か月連続プラス
その他	28.6	0.4	11か月連続プラス
商品券	-14.6	-0.6	17か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>